

週刊

鋼構造ジャーナル

2019
8/12 NO. 1939

週刊(毎週月曜日発行)/購読料・1カ年49,500円、6カ月27,000円(税込)とも/昭和55年9月26日第三種郵便物認可/発行所・株式会社 鋼構造出版/発行人・田中貴士/編集人・大船松/本社・東京都中央区日本橋茅場町2-2-2 三恵ビル5階 〒103-0025 電話 東京03(5642)7011(代表) FAX 03(5642)7077 /大阪支社・大阪市西区西本町1-14-3木本コスモビル 〒550-0005 電話06(6536)2601(代表) FAX 06(6536)7603 /札幌支局・札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 FAX 011(873)3636 /振込銀行口座・みずほ銀行京橋支店024-1044873 /郵便振替口座 東京00130-9-13713

おもな記事

- 10地区中9地区で需要減/19暦年上半期県別鉄骨需要 (2面)
- S造は19県で増加/6月の都道府県別着工統計 (5面)
- 地元の工業高校を視察/兵庫県Mグレード部会 (6面)
- 「19年度競技会表彰式」を開催/北海道溶接協会 (8面)
- 新社長登場/高山鉄工所(新潟)・高山剛氏 (10面)

- 米森昭夫氏の旭日小綬章祝賀会/関係者130人集う (11面)
- 伊藤學賞は松井繁之氏(大阪大学名誉教授)/橋建協 (12面)
- 特集/日本溶接構造専門学校 (16~23面)
- 町内会と「納涼祭」開催/福岡(福井) (24面)
- 関東版 (25面)



①関東一円のファブの若手15人が受講②青野塾長③ファーストクルーの石川社長(右)と辻川課長
④ドッドウエルビー・エム・エスの市橋課長(左)とデータ・ロジックの藤田部長

東京鉄構工業協同組合の青年経営者委員会(幹事長=松田一朗・松田鉄鋼業社長)が主催する若手経営者・技術者育成プロジェクト「東構塾」(塾長=青野弘毅・元那須トラクチャーエンジニアリング)は3日、東京都中央区の東構協会議室で第7期中・上級コース3回目の講義を開いた。当日は東京をはじめ神奈川、埼玉、茨城、群馬、長野など関東一円のファブの若手15人が受講。

青野塾長の講義と鉄骨専用CADメーカーによる最新機能

工作図・現寸をテーマに講義

東構塾

CADメーカーも機能を紹介

の紹介が行われた。

青野塾長は工作図に記載される内容、種類、作成手順、縮尺や方位などを説明。特に一般図、基準図、詳細図の内容については詳しく解説した。また、現寸では、種別、記号とマーク、スプライスの取り付けマーク、定規の表記、シーム位置などを解説した。

鉄骨専用CADメーカーによる最新機能の紹介では最初にファーストクルーの石川志郎社長が「FAST Hybrid for Revit」について、さらに同社営業部・辻川高士課長が「FAST Hybrid」の機能の特徴などをそれぞれ紹介した。引き続き、ドッドウエルビー・エム・エスのS/F事業部の市橋眞澄課長が「S/F RE AL 4」の特徴について、また開発元のデータ・ロジックのシステム事業部の藤田茂明部長が実際の活用事例を紹介したほか、特殊部品データや図面編集など、さまざまな機能を説明した。

36ページ